

Yokohama AEゼミ²⁰¹⁰

1 概要

- 「アートー子どもー社会」、それらをつなぐツールとしての「教育」を対象にして実践的に活動する有志の研究会として、『A Eゼミ (art education seminar)』を組織する。
- 学年を超えて、問題解決的に「つくる」活動を行う。
- 毎週1コマ（金曜日5限）、固定ゼミ時間を設けるが、実践活動日は、対象となる現場の状況やメンバーのニーズによってかわる。（土日祝日も含む）
- 活動内容にもよるが、活動成果はまとめて公表していく。

2 メリット

- ◎現代的な課題に対して、実践的・問題解決的に立ちあうことができる。
- ◎横国大の学校教育課程に所属している意義を最大限に活用できる。
- ◎子どもの世界とじっくり向き合える。（アート・エデュケーターとして）
- ◎自分の問題意識にもとづく活用が可能。（卒研、レポート、教員採用試験…）
- ◎現場／社会とのつながりをもてる。

3 参加方法

●大原則 = 有志のメンバーである（研究会）



- ・希望者は、メンバー登録する。（裏面「5」参照）
- ・大泉研究室横の『A E掲示板』やメールにて、活動に関する連絡を受ける。
- ・自分自身の問題意識にあわせて、各種活動に参加する。（自主性の重視）
- ・学外での活動には、無責任な参加の仕方は慎むこと。

4 活動内容（一部）



（１）アート・ツール・プロジェクト

- ・子どもが実際にからだで感じることから想像力を刺激する装置(アート・ツール)を製作・開発・実践する。(本プロジェクトは、科学研究費補助金の助成を受けて取り組んでいる)
 - ・昨年度は、学部生、大学院生、研究生、現場教員のコラボ・メンバーが、イベント『ワークショップ・コレクション 2009』（於・慶応義塾大学）に出展し実践した。
- 詳細は… <http://www.wsc.or.jp/> / <http://www7b.biglobe.ne.jp/~oizumi-labo/> / 別紙

（２）教員採用試験対策ゼミ

- ・特に４年生、Ｍ２年生を対象に、教員採用試験の自主的な勉強会の場を提供する。
- ・21 年度卒業ゼミ生の進路は、小学校全科３名、小学校図工専科２名、高校美術１名。
- ・３年生以下でも関心のある者は参加して、様子をうかがってよい。
- ・学部で開催される『キャリア開発講座』と連動して実施していく。

（３）各種研究会・シンポジウム、学会への参加（随時情報提供・お誘い）

- ・公開研究授業 ・民間の研究サークル ・附属学校公開研究会 ・学会
- ・他大学の学生が参加していることも多く、“横のつながり”も得られる。

（４）美術館・地域施設での実践ボランティア活動 ・ ・ ・（１）と関連

- ・本年度は主に、（１）と関連させて実践していく見通し。

（５）教材・教具の開発研究 ・ ・ ・（１）と関連

- ・おもしろツール、メディア教具などを開発し、実際に使ってもらい、その効果を検証する。
- ・図工の授業で扱う基本的な道具や材料に関する研究。(ハンドブックにして学校に配布)

（６）授業研究（附属学校、横浜市立小学校、川崎市立中学校など）

- ・アシスタントティーチャーとして授業に参画し、問題を協議する。
- ・一つの題材を複数人で繰り返し実践して、授業について考える。(19 年度課題ゼミで実施)

（７）成果公開

- ・まとまった成果物として、活動や研究の成果をまとめて公表するスキルを身につける。

5 希望する人は…

① メールにてメンバー登録する。

oizumi@ynu.ac.jp に下記内容のメールを送る。

■タイトル ; 『AEゼミ』

■本文内容 ; ① 学籍番号・氏名 ② 希望する活動や要望 ③ 携帯番号

② 大泉研究室横の『AE掲示板』やメールによる連絡に応じて活動に参画する。

③ 4月 日 () : ~ (限) に 304 教室にてオリテンを行う。